



夏を迎えて、次の成長へ

副校長 太田 智樹

夏の日差しが日に日に強まり、いよいよ夏の訪れを感じる季節となりました。校庭に響く子どもたちの元気な声や、汗を輝かせながら活動する姿から、学校生活の充実ぶりを感じています。

4月からこれまでの学校生活を振り返ると、最も大きなイベントは運動会ではないでしょうか。保護者の皆様にご協力いただいたアンケートからは、「家でも音楽を流してダンスの練習をしていた」「徒競走で一位になりたいと自主的に練習をしていた」「ソーラン節を楽しみにしていて繰り返し踊っていた」といった声が寄せられ、目標をもって取り組んでいた様子がうかがえました。また、「他学年の子と友達になれた」「高学年が下級生をフォローしていた」「友達のよさを認め、褒めていた」といった声からは、学年を越えた関わりや互いを認め合う姿が見られたことが分かります。さらに、「係活動に責任をもって取り組んでいた」「応援団の練習に主体的に参加していた」「自分から準備を進めるようになった」といった様子も多く報告され、子どもたちの中に主体性や責任感が確実に育っていることを感じました。

運動会は、仲間と協力しながら目標に向かい、よりよい集団生活の在り方を学ぶ大切な機会です。励まし合いながら挑戦する姿、悔しさを次へと生かそうとする姿の中に、子どもたちの大きな成長を見ることができました。

こうした力は、夏休み明けの教育活動へとつながっていきます。秋には4～6年生の宿泊体験学習が予定されています。普段とは異なる環境の中で生活を共にする活動では、一人ひとりが自分の役割を自覚し、仲間と協力して課題を解決していくことが求められます。運動会で育まれた「協力する力」や「最後までやり抜く力」、「自分から行動する姿勢」が、こうした集団での体験の中でさらに生きてくることを期待しています。

これから迎える夏休みは、子どもたちの生活の幅が広がるとともに、安全への意識がより一層大切になる時期でもあります。熱中症や水の事故にも十分な注意をしていただきたいと思います。暑い中での活動の際にはこまめな水分補給と休憩を心掛け、川や海などでの活動は必ず安全に配慮した環境の中で行うようお願いいたします。また、交通事故については、小学生の事故の多くが「慣れた道」「少しの油断」の中で起きています。先日、本校の校庭で実施した「交通安全教室」では、急な飛び出しや、停車している車の陰からの横断、交差点での安全確認について学びました。交通安全協会や学援隊の皆様のご協力のもと、鳥が丘の学区の実態に合ったご指導をしていただき、心より感謝申し上げます。ご家庭におかれましても、道路を渡る際には必ず立ち止まって左右を確認すること、横断歩道や信号を利用すること、自転車に乗る際にはスピードを出し過ぎず、周囲をよく見ることなど、身近で具体的な行動について繰り返しご確認ください。

夏休みを有意義に過ごし、さらにたくましく成長した姿で登校してくることを、教職員一同心より楽しみにしています。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。